

■ 岐阜環境医学研究所・座禪洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16
 IP Tel:058-296-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
183号 2019.6.1.
 毎月1回発行 座禪洞診療所 松井英介

産禪洞だより

白血病とストロンチウム90 —2—

松井 英介

前号に少し書きましたが、私は今、骨髄異形成症候群という病気とともに暮らし、働いています。

骨髄異形成症候群という病名は、聞きなれない方も多いかと思いますが、日本血液学会が編集した最近の造血器腫瘍診療ガイドラインを見ると、急性骨髄性、急性リンパ芽球性、慢性骨髄性、慢性リンパ性、各白血病について、骨髄異形成症候群が登場します¹⁾。それぞれの誘因として、放射線被ばくが挙げられています²⁾。

私の場合は、1965年医学部卒業後、一年間のインターンを終え所属した放射線科で、鉛の防具はつけていましたが、週二回暗室で消化管エックス線検査を行い外部被ばくを受けたという既往があります。

2011年3.11東電福島第一原発大惨事後も、それ以前から関わっていた「東京から肺がんをなくす会」の仕事に、週二日従事しました。さらに、福島県双葉町の医学放射線アドバイザーとして毎週のように福島に出かけ、内部被ばくを受けたと自覚しています。

2017年末に骨髄異形成症候群発症後、私はすでに一年半ほどアザシチジンによる化学療法を受けております。ほかの悪性腫瘍に対抗する場合も同じですが、免疫力を保つために、毎日バランスの良い食事をとり、適切な運動をつづけるように心がけています。

私の場合は、早朝住処の近くの山道を30分ほど歩くことです。そして週に一回、当診療所「すこやか教室」の一員として、百々峰山麓に出かけます。

松尾池の一角にある合掌造りが年を経るごとに荒れ果てていくことに、私は胸を痛めていました。

ですから、「景観を守る会」発足のニュース(図：2019年5月14日付中日新聞)は、とてもうれしかったです。

岐阜県知事と岐阜市長、そして、それぞれの議会には、ぜひとも本腰を入れて、この市民の活動を支援してくださいませよう、願って止みません。

(次号につづく)

岐阜・百々峰の南山麓
「景観を守る会」発足

岐阜県岐阜市にある南山麓の一角に、古くから合掌造りの民家が点在していた。しかし、近年は人口減少が進み、多くの民家が空き家となり、自然に覆われていく状況が懸念されている。こうした現状を憂う地元住民らが、この地域を後世に伝えるために「景観を守る会」を発足させた。同会は、合掌造りの民家を保全し、地域の景観を維持することを目的としている。また、地域の活性化を図るためにも、民家の活用や観光資源の創出に取り組む方針だ。

「景観を守る会」の発足式は、5月14日(日)午後2時から、南山麓の合掌造り民家で行われた。当日は、地元住民や関係者約50人が参加し、今後の活動について話し合った。同会の会長を務めるのは、地元在住の住民らで、毎月定例会を開き、活動の進捗を確認していく予定だ。

同会発足のきっかけとなったのは、2017年に撮影された写真だ。この写真がSNSで拡散され、多くの人々の注目を集めた。地元住民も、このままではいけないと感じ、発足を決意した。同会発足後、まずは民家の調査や、景観の保全に向けた取り組みを進めていく予定だ。

同会発足のきっかけとなったのは、2017年に撮影された写真だ。この写真がSNSで拡散され、多くの人々の注目を集めた。地元住民も、このままではいけないと感じ、発足を決意した。同会発足後、まずは民家の調査や、景観の保全に向けた取り組みを進めていく予定だ。

【文献】1) 日本血液学会編「造血器腫瘍 診療ガイドライン 2018年版」(2018年)、金原出版株式会社
 2) 直江知樹編「白血病/骨髄異形成症候群」(2013年)、医業ジャーナル社